

月根尾

「月根尾」とは、学校のある地域の古名

「突根尾原」に由来する地名です

ノード 「三日市NODE」の竣工に寄せて

校長 馬庭 寿美代

先日、学校の坂道下、三日市地区に「飯南町滞在型地域交流拠点施設」が竣工しました。

この施設の滞在者と地域住民の皆さんとの交流の拠点としたいという町の思いによって建てられました。4月から飯南高校生も活用させていただきます。ありがとうございます。きれいで使いやすく設計されたこの施設を大切にに使わせていただきます。

愛称は「**三日市NODE**」です。



木材は100%島根県産材。
飯南町産も含め、雲南管内の
木材も多く使われています。



地域住民との交流スペースもあります。

「NODE」には「結び目」という意味があります。町の住民と高校生を結ぶ場であってほしいという思いで名づけられました。どのように活用すれば、より多くの充実した結び目を作っていくことができるか、生徒のアイデアももらいながら考えていきます。

もう一つ、「NODE」には、「能動的な学びから生まれる高濃度の学びの発火点になってほしい」という思いが込められているそうです。地域の方々との交流を通して、そこからさまざまな学びへの意欲やヒントをもらい、自分から学ぼうとする意識を高く持って、より高次の学びへと発展させてほしい、ということだと思います。AIなどのデジタル技術が進歩し、簡単に大量の情報を仕入れることができるこれからの時代には、ますますこうした学びへの姿勢が求められることでしょう。

新年も引き続き、地域や保護者の皆様のご協力を得ながら、飯南高校生の成長につながる教育活動を積極的に行ってまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

12月22日には、
竣工式が行われました。





2年連続「準チャンプ本」に選ばれました！

12/13

島根県立大学松江キャンパスを会場に「全国高等学校ビブリオバトル2025島根県大会」が行われました。昨年度、「準チャンプ本」を受賞した**長島圭汰さん**が、今年度も出場し、**2年連続「準チャンプ本」を受賞**しました。

この大会は、発表者が5分間で本の紹介をし、その後、会場にいる参加者全員で質疑応答を3分間行います。最後に、「どの本を一番読みたくなったか」を基準に、参加者全員で投票をしてチャンプ本受賞作品が決まります。今回の発表者（パトラー）は8人でした。

長島さんが紹介した本は、『夏の終わりに君が死ねば完璧だったから』（斜線堂 有紀 著）。会場からの笑いを誘う、見事なプレゼン力で本の魅力を伝えました。



県大会では、「**発表の流れを意識しながら、勢いを大切にした**」と長島さん。「起承転結」ではない「起・承・転・転・転・結」で進む物語、思わぬ展開に引き込まれる小説だと語りました。また、この本の魅力は何と言っても『チェッカー』というボードゲームが出てくること。この本の根幹だそうです。絶対にやってみたくなるそうなので、ぜひ読んでみてください。

「**本好きからしたら、自分の知らないジャンルの本の魅力を知ることができる**」とビブリオバトルの魅力も教えてくれました。来年出場する際の本も考えているそうで、「**もう一度出場したいと思っている**」と意欲を示してくれました。

飯南町ふるさとシンポジウム

12/18

飯南町教育委員会主催のこのシンポジウムでは、飯南町内の小・中・高校生が一堂に会し、各学校が「ふるさと教育」や「課題研究」で取り組んできた成果を発表しました。本校からは2年1組の生徒が参加し、3年1組16班が『野球人口を増やして飯南町を盛り上げよう』をテーマに進めてきた研究内容を発表しました。

研究では、少年野球に取り組む児童を増やし、将来は飯南高校野球部で活躍して、地域をさらに盛り上げてほしいという思いから、野球教室を企画・開催しました。その結果、スポーツ少年団への加入者が増え、地域のスポーツ振興につながる成果を得ることができたと発信しました。



発表後には、小・中・高の卒をこえてグループに分かれ、意見交換を行いました。高校生が司会を務め、学校種の異なる児童生徒の意見をまとめました。話し合いを通して新たな視点や気づきを得ることができ、ふるさとへの思いをより深める時間となりました。



JRC部

12/19

島根県高等学校青少年赤十字メンバー秋季協議会

本校は【飯南高校発！ウェルビーイングないいな暮らし】と題して発表し、**優秀賞を受賞**しました。部長の横貝倭玖さんは、「**飯南町の良い所・悪い所を調べる中で、生活習慣の乱れが気になり、“高校生にも生活を見直す意識を持ってほしい”と感じて活動しました。地域の方々とのつながりを大切にしながら進めた取り組みについても発表しました。**」と教えてくれました。スライドの見やすさや伝え方にも工夫を凝らしたようです。他校の発表も参考になったと話していたので、今後の活動も楽しみです。



優秀賞

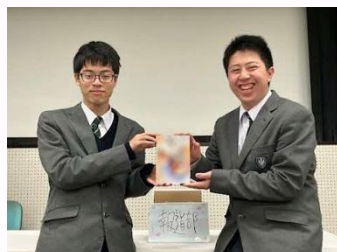
報道部

卒業生「ぼんごたん」さんの

最新巻に報道部員が登場！

2025年2月15日に、「飯南町創立20周年記念式典」が開催されました。その時に、現在漫画家として活躍されている本校卒業生のぼんごたんさんの記念講演が行われ、インタビュアーとして報道部の澤田煌明さん、長島圭汰さんが参加しました。ぼんごたんさんは、報道部の初代創設者でもあるそうです。

そのぼんごたんさんから、報道部あてに1冊の単行本『桐谷さん ちょっとそれ食うんすか！？』20巻（2025.10.23発売）が送られてきました。なんと、その中には式典の様子が描かれ、報道部の2人も描かれていました！！ぼんごたんさん、サイン入りの単行本、ありがとうございました。お忙しい中、送っていただいたことに、報道部全員、感激しました。



野球部

12/13

小学生対象野球教室を行いました

飯南町スポーツ少年団『飯南ワイルドボアーズ』の小学生を招いて、野球教室を開きました。ウォーミングアップ、キャッチボールを一緒にした後、ポジションに分かれて守備を教えたり、バッティングを指導したりしました。練習の最後に高校生がバッティングを披露し、小学6年生にも硬式ボールを打つ体験をしてもらいました。

主将の村尾仲裁さんは、「**本当に楽しんでやってくれて、野球が好きなのが伝わってきた。“甲子園に連れて行ってください！”と言われたので、頑張りたい**」と話していました。

今後もこのような活動を続けていきたいと思います。



「出雲子ども野球フェスタ2025」に参加

12/21

野球フェスタが出雲ドームで開催され、野球部員が今年も参加しました。このフェスタは、未就学児を対象に、野球の楽しさを体験してもらおうと、県高校野球連盟が毎年企画しているものです。

飯南高校は「狙って打つ」コーナーを担当しました。「**動作を丁寧に教えながら、的を狙って打つ、くじ引きで打つ方向を決めるなど、楽しんで打てる工夫をした**」と話していました。昨年担当した生徒を覚えていて、声を掛けてくれた子もいて、高校生にとってやりがいを感じる体験になりました。野球の楽しさが伝わっていたら嬉しいです。



ハンドボール部

12/19-20

第49回全国高校選抜ハンドボール大会県予選会兼 令和7年度中国高校新人ハンドボール大会県予選会

【1 回 戦】飯南 40-27 松江工業

【準 決 勝】飯南 18-40 江津

【3位決定戦】飯南 32-17 松江東 **3位**



中山結葉さんが審判員
として活躍しました！

↓ この結果、
2月に開催される

**中国高校新人ハンドボール大会への
出場権を獲得しました！**

スキー部

1/5-6

第74回全国高等学校スキー大会島根県予選会

<アルペン競技>

【女子GS（大回転）】

梅木 咲季 **1位**

【女子SL（回転）】

梅木 咲季 **1位**

<クロスカントリー競技>

【男子クラシカル】

影山 莉音 **1位**

【女子クラシカル】

今岡 蒼 **1位**

【男子フリー】

影山 莉音 **1位**

【女子フリー】出場



↓ この結果、
2月に開催される

**インターハイへの出場権を
獲得しました!!**

しおかぜ駅伝で活躍！

12/14

第34回浜田一益田間駅伝競走大会（愛称・しおかぜ駅伝）に、本校の生徒2名が「飯南チーム」の一員として参加しました。

中学生から社会人まで、幅広い世代のランナーがたすきをつなぐこの大会は、益田陸上競技場をスタートし、はまだお魚市場前を目指す全8区間40.1kmのコース。当日は、沿道から多くの声援が送られ、選手たちは力強い走りを見せていました。

地域代表の33チームが参加する中、1区を任されたのは田村瑞希さん。続いて2区は石原丈さんが力強い走りを見せました。2名の健闘がチーム全体の勢いにつながり、最終的に15位という立派な成績に貢献しました。

卒業生も多数活躍していました！



2月の主な行事予定

2日（月）人権週間（～6日）

3日（火）中高合同職員会議のため4限授業
放課後家庭学習日

4日（水）人権教育LHR

5日（木）SC来校（午後：飛田先生）

12日（木）1・2年生試験発表
3年生出校日②

19日（木）1・2年生学年末試験（～25日）

26日（木）SC来校（午後：菅先生）

27日（金）3年生を送る会

卒業式予行

3年生鵬雲会入会式

*** 卒 業 式 ***

3月1日（日）出校日 卒業式

2日（月）振替休業日（3月1日分）